



建築設備技術遺産

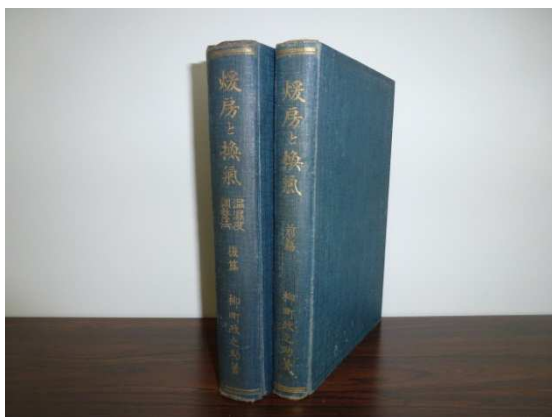
認定第 2 号 「暖房と換気」前編、後編 柳町政之助著(書籍)

管理者:高砂熱学工業株式会社

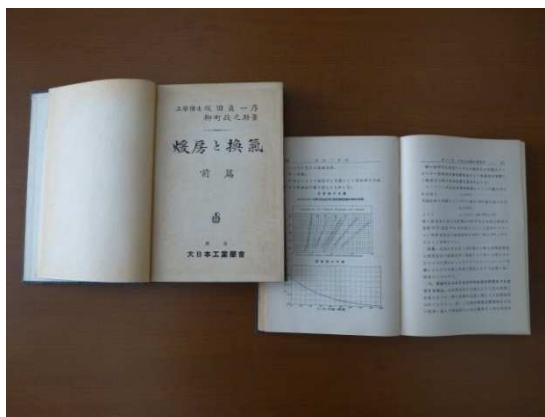
国内に技術資料が殆どない時期に、著者(柳町政之助)は、外国の文献・国内の文献を参考にしつつ自らの設計・施工経験より導き出した空調設備に関する広範囲の技術情報を取りまとめ、「暖房と換気」として、前編(400 ページ)を大正 9 年(1920 年)に、後編(副題:温湿度調整法・506 ページ)を大正 11 年(1922 年)に発刊した。著者は巻頭に「書名は一般の理解を得るために『暖房と換気』としたが、『空気の温湿度調整』(Air Conditioning に対する著者の訳語)に関する一般向けの記述である」と記述している。

空調分野について物性、理論、設計、施工、機器など幅広く記述されている。まだ当時は暖房・換気設備が主体であったが、空気の冷却、湿潤、減湿、乾燥、洗浄および塵埃と騒音など、またランニングコストの視点、当時の法規制に対する指摘なども記述されている。設計者のために数式を詳しく説明し、役立つ各種図表も豊富に掲載している。わが国初の先駆的は空調技術専門書である。初版後、版を重ね昭和初期(終戦)まで広く使用されていた。

今回、昭和 12 年発行の前編(第 6 版)と昭和 10 年発行の後編(第 6 版)を選定したが、これらの書籍は、空気調和設備技術の発展に多大な貢献をしたものであり、建築設備技術遺産として認定するに値するものである。



「暖房と換気」前編、後編



柳町政之助著